

市民と議会をつなぐ

市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

6月定例会
No.165
2024.7.23

新庄開府

400年
1625-2025

～歴史と伝統を
未来につなぐ～



6月定例会の議案等 P2～3

一般質問 P4～9

議会報告会 P10～11



←新庄市議会
HPはコチラ

新庄風フェスティバルが、6月16日かむてん公園で開催されました。旧新庄藩士・隠明寺家に伝わる「般若」の絵柄が有名な隠明寺風をはじめ、9県より19の団体・個人が参加。版木は、山形県有形民俗文化財指定。

6月定例会

令和6年6月定例会では、初日、報告4件を承認し、議案1件を原案のとおり可決しました。
最終日には、議案3件、令和6年度補正予算2件を原案のとおり可決し、請願1件を不採択としました。

審議された議案等

種類	番 号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第2号	令和5年度新庄市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認について	承認
	第3号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第4号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第5号	新庄市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
議案	第28号	令和6年度新庄市一般会計補正予算（第1号）	可決
	第29号	令和6年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第30号	財産の取得について	可決
	第31号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
	第32号	新庄市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
	第33号	新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決

議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○ → 賛成 ● → 反対

	会 派 名	新政・結の会										共に創る 市民の会				勁草 21		会派に 属さない 議員		採決結果
		小嶋 富弥	小野 周一	高橋 富美子	佐藤 卓也	山科 正仁	山科 春美	渡部 正七	鈴木 法学	辺見 孝太	鈴木 啓太	坂本健太郎	田中 功	伊藤 健一	今田 浩徳	八 鍬 長一	新田 道尋	佐藤 悦子	亀井 博人	
議案等 番 号																				
請 願 第3号	健康保険証を廃止せず存続を求 める国への意見書採択を求める 請願書	●	●	●	—	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	棄 権	○	○	不採択	

※議長は採決に参加しません。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

受賞者の紹介

一般質問

議会報告会

請願の審議結果

件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
健康保険証を廃止せず存続を求める 国への意見書採択を求める請願書	山形県社会保障推進協議会 会長 高木 紘一	佐藤 悦子 坂本健太郎	不採択

産業厚生常任 委員長報告

産業厚生常任委員会の主な質疑

●議案第33号

新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 保育士1人あたりの園児の人数が少なくなるといふことだが、保育士が今以上に必要になる側面がある。市内の保育所などで保育士が不足しているというような話は、市に届いているか。

A 日頃から少し余裕を持った保育士の配置がされているため、基準改正に伴って、保育士が不足しているというような事態はなく、今入っている園児に対する保育士の定数は満たしている。

●請願第3号

健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択を求める請願書

Q 資格確認書は、制度移行後に全員に届くのか。

A 制度上、12月2日で国民健康保険証の新規発行が廃止されるため、新たに国民健康保険に加入される方でマイナ保険証をお持ちでない方は資格確認書を交付することとなる。

Q 資格確認書の一斉発行について

A 令和7年7月末時点でマイナ保険証を所有していない方には、申請しなくても、保険者から一斉に送付される。



受賞者の紹介

6月定例会の初日、表彰状の伝達が行われました。小嶋富弥議員が、市政の発展及び振興に貢献したことにより、全国市議会議長会より議員25年以上在職による表彰を受けました。



おじま 小嶋 富弥 議員

今後も
市政の発展に
ご尽力ください。

一般質問

一般質問は、6月5日、6日、7日の3日間、11名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

ねえ、かむてんおしえて！

一般質問って何？



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。

かむてん © 新庄市 × 富樫義博

6月定例会一般質問の質問者と質問事項

辺見 孝太

1. 消滅可能性都市について
2. 山形新幹線のまちづくりへの活用について
3. インバウンドの拡大と統合型リゾート（IR）について

小嶋 富弥

1. 学校教育について
2. 持続可能な街づくりについて
3. 市老人福祉センターについて

鈴木 法学

1. 「交通事故が起きにくい、環境整備」について
2. 「今後の地域情報発信」について
3. 「合併処理浄化槽」について

鈴木 啓太

1. 公共施設の統廃合について
2. 体育施設の使用料について

坂本健太郎

1. デジタル社会に対応した読書環境の整備について
2. 看護師の確保対策について
3. 公共事業の入札について

伊藤 健一

1. 新庄まつりと東北農林専門職大学との積極的な関わり構築について
2. 新庄市の義務教育の方向性について

佐藤 悦子

1. 平和都市宣言の趣旨を生かし、市民を啓蒙し、平和を守る市長としての見解を伺う
2. 最低賃金を大幅に引き上げ、暮らせる賃金の補償を
3. 公衆用道路の固定資産税は免除すべきではないか
4. 子どもは宝として、日本国憲法に沿って、義務教育は無償とすべきではないか
5. 高齢者を守るために

山科 春美

1. 住民ニーズにあった地域公共交通体系の構築について
2. 女性活躍の推進と「女性リーダー」の育成について

亀井 博人

1. 持続可能な新庄に
2. 入浴施設（温泉）について
3. 名誉市民について
4. 市民対応について
5. グラウンドの照明について

田中 功

1. スクールバスの運行状況について
2. 新中部保育所（仮称）建設の進捗状況について

八鍬 長一

1. 水は命だ
2. 新庄インターチェンジ付近道の駅について

質問動画はこちら



インバウンドの拡大と統合型リゾート



へん み こう た 議員 辺見 孝太

民間において統合型リゾートの誘致を目指す動きが

訪問者を受け入れるなど、その効果は確実に表れているものと捉えています。

地政学的優位性
- 首都圏からの良好なアクセス：新幹線で東京から乗り換えなし
- 交通網の結節点：東西南北を走る鉄道・道路が通る交通の要衝
- 宝島と島（山形・庄内空港、酒田港）：インバウンド集客に対応

島の魅力
- 雪のない地域から来た観光客にとって、雪は魅力的なコンテンツ



新庄市の観光ポテンシャル

◎民間からは統合型リゾート（IR）の誘致を目指すなどのインバウンドを意識した活動が生まれていますが、市として伸長しているインバウンド需要をどのように捉えているのかお伺いします。

市長 本市では、平成23年からインバウンド誘客事業に着手しており、台湾をメインターゲットとして受入基盤の整備や海外向けのPRに取り組んできました。今年度に入り、酒田港に寄港する大型クルーズ船の乗客向けツアーの一部として、ふるさと歴史センターに立ち寄るコースの受入れをすでに3回実施し、総計で約240名の訪問者を受け入れるなど、その効果は確実に表れているものと捉えています。

あることは承知していますが、市民の十分な理解が重要であると考えます。市としては、昨年9月に国際友好交流協定を締結した台湾の草屯鎮へ、本市より表敬訪問を行う予定ですが、この機会を捉え、新庄まつりや雪に関するアクティビティなど、季節に応じた本市独自のコンテンツによる誘客につなげ、インバウンド観光事業の拡大に向けて取り組んでいきます。

◎豊かな自然や歴史、文化などの魅力を高めていく事に加えて、新たな観光資源の創出も必要かと思えますがいかがお考えでしょうか。

市長 本市においては、ユネスコ無形文化遺産である新庄まつりが最大の観光資源であるものの、通年型のキラーコンテンツと言われる観光資源が乏しいと認識しています。

新庄最上地域の通年型の観光資源には最上川舟下りがあり、これは最上川や最上峡といった自然と船で川を下る体験型観光を併せ持つ観光資源ですが、本市にもこうした観光資源は眠っていると感じています。

しかし、地域資源を観光資源として気付くことは、地域の中だけでは難しいと感じているため、外部のエージェントやアドバイザーなどの第三者による支援も取り入れながら、地域に埋もれた観光資源の発掘、創造に努めます。

※キラーコンテンツ…高い集客力を有する魅力的な観光コンテンツ。



高齢者福祉と未来を担う子どもと共生の出来る持続可能な街づくりを

◎老人福祉センター閉所の話があります。多くの高齢の市民が、楽しく利用し喜んで使用する施設を運営の社会福祉協議会が閉所決定していますが、老人福祉法に基づき、市として今後の対応はどのように図られるか質問します。

市長 新庄市老人福祉センターはオープンから49年が経過し老朽化が進んでいることや、社会福祉協議会の施設管理に係る財政負担が大きくなっている状況を踏まえ、運営主体である社会福祉協議会が、今年度中の施設の閉所を決定したところです。

本市としては、現在施設を利用されている方の受け皿の調整など、利用者の立場に寄り添った丁寧な対応が必要であると考えています。

このため、

現在、社会福祉協議会



閉所後の市としての老人福祉の拠点づくりは

と連携し、施設閉所後における利用団体の活動場所の確保のほか、老人福祉センターに事務局を置く福祉関係3団体の移転先の確保に向けた調整を進めています。

引き続き、運営主体である社会福祉協議会と協議しながら、高齢者の健康増進などを目的とした各種取組みが継続できるよう努めていきます。

◎津田新教育長にお伺いいたします。未来を担う児童生徒の教育行政に対するの抱負と、目指す目標をお伺いします。

教育長 学校教育の使命は、子どもたちに次のステージに立つたときに困らない資質能力を身につけさせることであり、一番重要な資質能力はコミュニケーション能力ではないかと考えます。当然、論理的思考や読解力も高いコミュニケーション能力には必要で、教科の学習で得た知識技能が全ての土台となり、人との関わりで身につけていきます。

また、学力とは文字通り「学べ力」と捉えています。昔から「一を聞いて十を知る」という言葉があります。それができる「学べ力」を培っていきたいと思います。そのためには、調べて終わりにせず自分の頭で考えることが重要だと思っており、本市の子どもたちには、単に答えだけを求めず、自分の頭で考えることによって学力を得た上で、多くの人と関わることでコミュニケーション能力を身に付けてほしいと思います。



地域への情報発信について



新庄市準公式サイト
かむてんチャンネル

◎市の準公式サイトが、(株)サイネックスとの官民協働事業として開始されます。この事業者を選定した経緯と、今後どのように活用と発信をしていくのかお伺いします。

市長 以前から、広報誌の「お知らせページ」については、紙媒体という都合上、紙面に限りがあるため、市民の方々からの要望に添えず、掲載をお断りすることがありました。このような状況の中、(株)サイネックスよりこのポータルサイトを提案いただき、また、運用資金が広告収入により賄えることもあり、導入を決定しました。



すずき ほうく 議員
鈴木 法学

本サイトには、市民が誰でも自由にイベント情報などを投稿することが出来るため、市民同士での情報のやりとりが可能となります。市民の方々はもちろん、広報などによる情報が届かない周辺自治体の方々も本サイトを活用していただくことで、より効果的な情報発信が期待されます。

さらには、新庄市の観光情報や特産品情報が得られることで、本市への誘客につながることも期待しています。このポータルサイトを活用し、企業や市民の皆様の多くの投稿によって市全体を盛り上げ、官民連携による情報発信に取り組んでいきます。

◎合併処理浄化槽について、本市では補助金を交付し、設置を推進しています。この補助制度が令和7年度で終了予定と広報されている理由をお伺いします。

市長 補助制度のうち、国庫補助及び市の補助金が財源となる、合併処理浄化槽設置整備事業費補助金については現時点で終了の予定はありませんが、山形県による上乗せ補助である浄化槽整備促進事業費補助金については、令和7年度で終了する予定となっています。合併処理浄化槽を普及促進するうえで重要な財源であるため、令和8年度以降も継続実施されるよう、山形県浄化槽普及推進協議会を通じ、強く要望していきます。

質問動画は
こちらから

戦略を持った公共施設運営を

公共施設の統廃合に関しては、小規模施設は大規模施設への統合を基本とし、費用の低減を進めるとともに、まちづくりの視点を踏まえ、機能の複

合化により利便性の向上を目指すことが必要と考えています。今後、施設の維持管理、修繕更新に関して、利用状況を踏まえて施設の運営目的と市民ニーズにずれが生じていないかを検証し、施設の廃止を含め、他の施設との複合化や集約化を視野に検討を進めていきます。

市長 今後、人口減少が進展していく中、現在の公共施設等を全て維持管理し、改修や建替えの投資的経費を確保することは非常に難しく、公共施設等の維持管理にかかる費用を低減していくことが重要と考えています。本市としては、「新庄市公共施設等総合管理計画」を基本に、公共施設等を取り巻く現状や将来にわたる課題等を客観的に整理し、公共施設等の維持管理を行っていただくことです。

◎これから公共施設に多額の更新費用等が必要となり、市の財政悪化が懸念されます。公共施設の統廃合を計画的に進めるべきと考えますが、市長の考えを伺います。



鈴木 啓太 議員



県内の屋内遊戯施設

市長 市の形づくりとして、単体ではお金がかかってしまうところがありますが、例えば、子育て施設と高齢者施設と一緒にするなど、いろいろな組み合わせがあるとと思っています。何が市民にとって一番有効で幸せなことなのか、鋭意検討していきたいと思っています。

◎公約である「こどもの遊び場」を整備するため、必要額を含めて算出した公共施設等総合管理計画を策定してはいるかかと思いますが、市長の考えを伺います。

市長 市の形づくりとして、単体ではお金がかかってしまうところがありますが、例えば、子育て施設と高齢者施設と一緒にするなど、いろいろな組み合わせがあるとと思っています。何が市民にとって一番有効で幸せなことなのか、鋭意検討していきたいと思っています。

質問動画は
こちらから

デジタル社会に対応した施策を

◎急速に進む社会のデジタル化、IGAスクール構想の進展を踏まえ、本市における公立図書館や学校図書館におけるデジタル社会に対応した今後の読書環境の整備方針は、教育長 デジタル社会に対応した読書環境の整備、充実については、国や県の計画において推進されています。

本市においても、令和3年度に策定した「新庄市子ども読書活動推進計画」で、市立図書館の今後の取組みとして、電子書籍等の多様な形式の図書資料の充実を目指すとしており、デジタル社会に対応した読書環境の整備の重要性を認識しています。今後、市立図書館においては、先進自治体での取組みを参考にしながら、負担面も含めてより効果的な読書環境の充実について検討していきます。また、学校図書館においても、1人1台



タブレットの中の電子図書

のタブレット端末の有効な使い方など、どのような読書環境を提供できるか、先進自治体での取組みを参考に、早急に研究していきます。

◎市における入札制度について、事業者の育成、雇用の観点から、市内業者を優先して発注すべきと考えるかかが。

市長 入札参加者の要件については、各工事内容及び規模等に依りて定めていますが、大半は「市内に本社または営業所を有する事業所」としています。

過去3か年の受注状況を見ると、土木工事では市内に本社のある事業所が全て受注しており、管工事や電気工事の業種では、市内に営業所を有する事業所が年間に数件受注しています。これは、市内に本社を有する事業所の割合や、業種ごとの格付け業者数の違いなどによるものと考えられます。

なお、国から「公共工事の円滑な施行の確保」として、地元の建設業者が地域経済や雇用の重要な担い手となっていることを踏まえ、受注機会の確保に努めるよう要請されています。また、県内13市における入札参加資格の動向を見ると、「市内に本店を有する」とする動きが見られます。

本市としては、これらを踏まえ、今後、入札のあるべき姿と受注機会の確保について、総合的に研究していきます。



坂本 健太郎 議員



東北農林専門職大学との連携について

◎新庄市と東北農林専門職大学との関わり構築の一環として、新庄まつりに参加したい大学生と若連をマッチングさせる仕組みづくりを提案しますが市としての考えを伺います。

市長 少子高齢化に伴うまつりの担い手不足など、各団体が抱える課題は年々深刻化してきており、新庄まつり実行委員会においても課題解決に向けた検討を始めています。その検討会においても、東北農林専門職大学の学生参加について積極的に進めていくべきとの意見が出されており、実行委員会としても大学と協議し積極的に呼びかけていくこととしています。

本市としても、専門職大学の学生が、地域の歴史や伝統・文化に触れ理解を深めるとともに、地域との関わりを持つていただくことが新庄ま



東北農林専門職大学

つりの保存・継承のみならず、地域コミュニティの活性化につながるものと考えているため、大学との連携を強化しながら、学生と地域の積極的な関わりが持てるよう取組みを進めていきます。

◎新庄市の義務教育の方向性の中で、教員の働き方改革に向けてどのように取り組むのか伺う。

教育長 最大の課題である教職員の超過勤務については、校長会等を通じて、学校業務の削減や見直しを図るよう指導しています。各校では、会議や打合せ時間の短縮を図るとともに、行事や諸活動の内容の見直しを進めているところです。

また、今年度より、保護者連絡アプリを市内全校で導入しており、毎朝の欠席連絡や緊急時の保護者への一斉連絡、学校からのお知らせの配布などについて、本アプリを利用することで業務負担の軽減を図っています。併せて、今後、校務支援システムの導入拡大を検討し、学校事務のさらなる負担軽減を図りたいと考えています。

その他、教員業務の補助や児童生徒への支援を目的に、個別学習指導員や特別支援教育支援員、部活動指導員を配置するとともに、県事業としてスクール・サポート・スタッフ配置事業などを実施し、教員の負担軽減につなげていきます。



安心して暮らせる賃金の保障こそ



佐藤悦子 議員

◎人口減少の原因は、賃金が低く結婚や子育てが不安なことだ。最低自給900円は、若者を流出させる大きな原因だ。最低賃金引き上げのため、市独自補助はどうか。

市長 最低賃金は社会経済の状況を調査した上で決定されているものであり、全国的には上昇傾向で、山形県でも令和5年10月14日より地域別最低賃金は900円となり、改定前より46円上昇しています。

また、ハローワーク新庄の「求人賃金・求職者希望賃金状況」によると、令和6年3月時点で、正社員求人賃金の下限平均は18万6523円となっています。週5日、8時間労働で換算すると、時給は約1165円になり、パート求人賃金についても下限平均で10

72円となっています。最低賃金は都道府県ごとに設定されるものであり、県単位での課題と捉えています。また、賃金については、本来、企業の成長と地域経済の発展の中で賃上げを実現するという好循環を作ること、はじめて持続可能なものになると認識しています。

大企業の内部留保 アベノミクスで大幅増額

	2024年現在	2012年	増加額
大企業	537.6兆円	316.8兆円	210.8兆円

財務省法人企業統計から しんぶん赤旗6月3日付

このようなことから、本市としては、賃金を引き上げるための市独自の補助は考えていません。

◎市職員の約4割の会計年度任用職員は、正採用と変わらない仕事をこなし、市民の人権を守る専門性の高い仕事なのに低賃金だ。正採用にして配置すべきではないか。

市長 本市における会計年度任用職員の処遇については、全国的な流れを注視しながら改善に取り組んでいるところです。

また、一般事務補助から資格職まで様々な職種の会計年度任用職員がいますが、来年度、新たな定員管理計画の策定に向け、適正な職員数について検討していくことに合わせ、会計年度任用職員についても、雇用人数や職種、業務内容等について改めて検討していきます。



質問動画は
こちらから



市民の「足」の確保の更なる構築を！



新庄市バスブック

市長 自治体ライドシェアについては、交通空白地域において一般ドライバーが自家用車を利用して行う有償旅客運送であり、今後の本格的な実施に向けて、現在国において法整備や運用体制の整備が進められているところです。

◎今後、団塊の世代の方が後期高齢者になる2025年問題もあり免許返納率も増えてくる中、交通空白地域における自治体ライドシェアの導入について伺います。

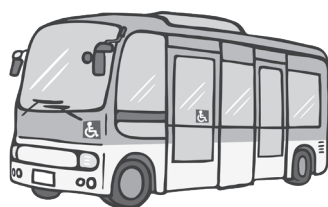


やましな はるみ 山科春美 議員

教育長 令和5年3月に第2次男女共同参画計画を策定し、市民一人一人が、性別に関わりなくその個性を発揮することができ、社会づくりのための取り組みを推進することとしており、これまで、男女共同参画の意識醸成のための啓発活動などについて、県の男女共同参画センター「チェリア」と連携しながら取り組みを進めています。

◎女性の活躍推進は地域の活性化に欠かせないものですが、市の取り組みにおいて女性の活躍や女性リーダーの育成はどのようなことを行っているかお伺いします。

◎女性の活躍推進は地域の活性化に欠かせないものですが、市の取り組みにおいて女性の活躍や女性リーダーの育成はどのようなことを行っているかお伺いします。



※自治体ライドシェア…自家用有償旅客運送の通称。法律に基づき、国土交通大臣の登録を受けた自治体やNPO法人等が、自家用車を使用して旅客を運送できる制度。

質問動画は
こちらから



グラウンドの照明について



かめい ひろと 亀井博人 議員



新庄小グラウンド

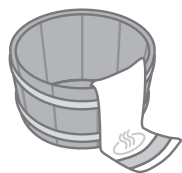
◎小中学校でグラウンドの照明のある学校は何校ありますか。練習時に必要な明るさの基準はありますか。練習に支障を来している学校はありませんか。

◎県内35市町村の中で唯一温泉がない自治体として3年が経過。昨年6月の議会答弁を踏まえ入浴施設（温泉）の開設に向け、今後どのように事業を推進する考えか伺います。

市長 入浴施設等につきましては、市民の健康の保持増進を推進する観点からも重要と考えており、また市内に入浴施設等を要望する市民の声があることも認識しています。

民間事業者による既存の入浴施設の再開については、昨年度整備に向けた協議を行ったところでしたが、様々な課題があり、折り合いがつかず再開には至りませんでした。

そのような状況の中、新たな経営者による奥羽金沢温泉の再開についてマスコミ報道があり、関係機関から情報収集を行ったところ。現時点では、温泉施設の再開のため各種手続きや準備が進められていくと認識しており、引き続き山屋地区での温泉再開に関する情報収集に努めます。

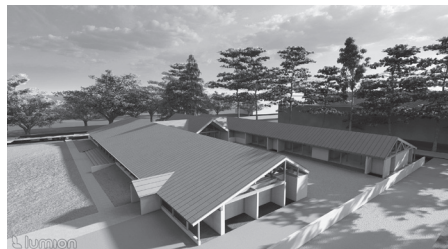




新中部保育所（仮称）建設は!?

◎本年2月に入札予定だった新中部保育所建設工事が、設計図書の一部に誤りが見つかり急遽中止になったが、発注状況と今後の開所の見通しについて伺いたい。

市長 今年1月に入札公告を行い、入札参加受付をしていましたが、設計図書の積算内容の一部に誤りが確認されたことから、2月8日に入札手続きを中止し、設計業務委託業者に設計積算の全体的な精査を求め、第三者機関からの照査を受けた上で、修正図書を提出を提出



新中部保育所（仮称）完成予想図

するよう求めたところです。2月末までの修正内容が提示されましたが、設計当初の額を大幅に上回ることから、事業費全体について、保育所の機能やコンセプトに影響しない範囲で、見直しの検討を行ってきたところです。設計積算の修正と照査に時間を要していますが、修正図書が提出され次第、市で内容を確認したうえで、できる限り早期に工事発注に向けた手続きを進めていきます。

また、入札の遅れに伴い、開所の予定に遅れが生じています。入札や工事請負契約の時期により今後の予定も変わるため、修正図書の提出を受けましたら、今後の予定をお示ししたいと考えています。

◎児童等の登下校時の安全確保と保護者負担の軽減からスクールバスの空席を利用して、歩いて通学する児童を乗車させる運用は出来ないか？

教育長 スクールバスの乗車については、学校までの通学距離などによる基準を設けて運用していますが、児童生徒が安全安心に登下校できるよう、必要に応じて乗車基準見直しの検討も必要であると考えています。



「新庄インターチェンジ付近道の駅」の検討はどこまで進んでいるか



高速の十字路 新庄インターチェンジ

◎新庄インターチェンジ付近道の駅は100年に1度のビッグチャンスであると私は考える。
中断している検討会の再開に向けてどこまで進んでいるか。
市長 現在休止している新庄インターチェンジ付近道の駅検討会ですが、協議再開に向けた前段として、民間企業や経済団体との役割分担をしながら、最上地域8市町村が行政側の主要課題を整理し、共通認識を持って今後の協議を進



やくわ ちゅういち 市長 議員

めていくため、この度、新庄インターチェンジ付近道の駅勉強会を設置したところです。

この勉強会は、最上地域の8市町村の会員と、オブザーバーの最上総合支庁長により構成されており、最上地域全体の経済、観光、交流等の活性化のため、これから新庄最上地域にどのような施設と機能が必要なのか、行政としての論点整理を行うこととしています。

新庄インターチェンジ付近道の駅が、本地域に大きな波及効果をもたらすものとなるよう、専門家のアドバイスをいただきながら、最上8市町村としての考えを整理した上で、民間団体側と合流し、道の駅検討会を早期に再開できるように取り組んでいきます。

◎水は命だ
新庄市の水道料金は高い、安くして安全安心な水を提供するためにどんな手立てが必要か。

市長 令和5年3月に山形県が策定した広域化推進プランに基づき、最上8市町村で最上圏域の取組方針を取りまとめています。

この中で、今後、安価で安全安心な水を提供できるよう、同種同様の業務についての共同購入や共同委託による経費節減に努めるほか、新たな連携項目についても、引き続き検討を進め、対応していきます。

第15回議会報告会から

15回目となる議会報告会を5月28日（火）、29日（水）、31日（金）の3日間、市内6会場で開催しました。いただいた数多くのご意見やご要望を集約・整理しました。以下、その要約を掲載いたします。

市政に対する

要望・提案

【総務課】

■人事について

- ・副市長、教育長も地元の新庄の方でなく他から来られた方。地元の人材を輩出できないのか。または人材を育成できないのか。職員から副市長を輩出するべきでは。

■情報公開制度について

- ・閲覧の時、課長の前のテーブルで閲覧した。資料の閲覧は、もう少しゆっくり閲覧できる環境にできないか。

【総合政策課】

■市内循環バスについて

- ・市内循環バスの運行（空車）は無駄遣いではないか。検討してほしい。

■市民参画について

- ・アンケート方式で市民の要望やニーズを聞くようにしてほしい。
- ・市のホームページに市民の具体的な意見を載せて、その対応について記述してほしい。

■移住・定住について

- ・東京などからのUターン希望者を新庄まつりで引き付け、定住や就職相談の促進のための紹介ブースを設けてはどうか。若い人が子育てする環境として新庄市をアピールしては。

■人口減少対策について

- ・人口の急減。消滅自治体と言われている。新庄のまちづくりビジョンが市民側から見えないがどう考えているか。商店街も活性化していない。駅前通りも活性化していない。（寒河江市、東根市、河北町、尾花沢市、街の景観を保っている。）松町区画整理事業では、平成元年に国から経費の引上げがあるということがあり慌てて事業を行ったこともあった。商工会議所も一体となって街づく

りをするべき。また、広域的に新庄・最上をどうするかを考えるべきではないか。

■合併について

- ・最上広域でもっと協力してほしい。合併する意見は出ていないか。

■旧県立病院の跡地について

- ・旧県立病院の跡地の利用へ市は関与しているか。

■デジタル化について

- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に関し、行政サービスをデジタル化していく展望について伺いたい。また、デジタル化を進める際、高齢者などが取り残されないよう対策してほしい。

■地域担当制について

- ・職員の地域担当制の復活を求める。

【都市整備課】

■道路整備について

- ・生活道路整備費補助金の、1／2の補助率をもっと上げてほしい。
- ・通学路と利用されている国道沿い歩道の雑草の処理について、優先的に実施するよう国に働きかけてほしい。（除雪についても）

■空き家対策について

- ・市内の商店街で空き家が増え雑草が多くなっている。市民が自発的に除草を行っているが、行政からも除草対策に支援してほしい。

■東山「あじさいの杜」について

- ・東屋の上から木が落ちてきて、釘がぶら下がっている。公園管理をどのようにしているのか。毎年点検の中で、危険のないように確認してほしい。

■IC付近道の駅について

- ・ぜひやっていただきたい。広いスペースで雪捨て場を作るようにしてほしい。

■市営住宅等の活用について

- ・市外に住む入院患者家族の支援として、短期滞在施設に市営住宅等を活用できるよう制度の見直し等行ってもらえないか。

【成人福祉課】

■高齢者の活躍の場について

- ・高齢者の持つ知識や技能を名簿化し、町内会への研修派遣など地域で活用できる仕組みを提案する。

■老人福祉センターについて

- ・老人福祉センターの閉館について、代替え場所を確保してほしい。
- ・9月ごろまでしか予約が入られない。今後の方向性が分からないということはどういうことなのか。自分たちの計画が立てられない。

【商工観光課】

■新庄まつりについて

- ・新庄まつりの資金や人材が不足し

ている。担い手の確保、資金調達方法を検討しているか。

・まつり発展のため、観光客を増やすためSNSやマスメディア、漫画家等の活用を検討しているか。

■観光について

・城下町の観光について、活用方法や街の魅力を高めるための対策が必要ではないか。

【環境課】

■災害対策について

・災害時の情報が高齢者には届きにくい。防災無線が豪雨時は聞こえない。新庄市のコミュニティ放送の活用が重要だが経営が苦しい。市からの支援を要望する。情報がなければ判断できない。

・高齢者を支援するためには地域全体の協力が必要。新庄市地域防災計画を作成しているが、災害時の対応計画を地域に共有し、機能する避難所体制が構築できるよう準備しているのか。

・災害発生時の初期対応において、近隣住民の助け合いが不可欠。これには自主防災組織の強化と住民同士の連携が必要と認識しているが、市として支援いただけることはあるか。

■交通安全・防犯対策について

・横断歩道の白線が消え、危険な状態。防犯灯の設置も遅れている。町内会で補助金申請したが、工事が始まらない。交通安全や防犯対策に関わるため早急に対応してほしい。

【教育委員会】

■最上育英会奨学金について

・看護師、理系の学生への奨学金だけなのか。教育委員会として、看護師、理系の学生だけではなく優秀な学生全般を見るべきでは。

【学校教育課】

■児童指導について

・小学生の自転車の乗り方が危ない。学校でも指導が不足しているのでは。

■教育行政について

・日新小学校、子どもの自主性を持たせるため宿題を出さないと行って、全国的に有名になっている。市の教育委員会としての見解はどうなのか。

真室川町では公営学習塾をやっているようだが、市の教育行政の方向性について伺いたい。

【社会教育課】

■子どもの遊び場について

・日新小の子どもの放課後の遊び場が少ない。グラウンドも体育館も使えない。わくわく新庄の体育館を開放

してもらえないか。

■生涯スポーツイベントについて

・広域農道で景色が良いところがある。自転車を活用したイベント開催などでもいいのでは。

■市立図書館について

・駐車場が狭くあのままでいいのか。駐車場の事を言うと「プラザを利用してください。」と言われる。市立図書館をなんとかしてほしい。最上広域市町村組合が移転した後の建物や、または「ゆめりあ」の2階を図書館にしたらいいのでは。古い建物を利用できないか。

また、移動図書館などもやってはどうか。村山市は、「図書館の町」と銘打っているが他市に比べて、新庄市をどうしたいのかのビジョンが見えない。全国的に図書館がなくなっている。これでは、大事な人材育成の場がなくなるので困る。

■指定管理者制度で働いている方の給与について

・例えば、新庄市図書館には優秀なスタッフがそろっている。皆さん司書資格もとっていて、学校との連携も行っている。頑張っているのに、もう少し実績を見てあげるべきなのではないか。また、職員の人件費はきちんと見てあげるべきではないか。

■歴史センターについて

・市民が何時でも拝観出来るように、

市民券の発行をしてはいいかがか。一回の拝観料が300円。市民の方限定で通年5000円券などの市民券を発行してほしい。



新庄市民プラザ

●会場名および参加人数●

・わくわく新庄	12人
・萩野地区公民館	7人
・新庄市民プラザ	18人
・八向地区公民館	3人
・升形公民館	5人
・雪の里情報館	21人
計	66人

ご意見・ご要望に対する回答については、後日、市ホームページでお知らせします。ありがとうございました。



地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

若い人たちが楽しめる場と 機会の実現を目指して



新庄TCM株式会社
「Fiesta」管理人 かくた あゆむ さん



コスプレイベント「はろハロ」スタッフたち

新庄TCM株式会社「Fiesta」（こらっせ新庄1F）の管理人として新庄最上の高校生や若者たちが楽しめる場作りのお手伝いをさせて頂いています。

出身は茨城県でテニスインストラクターを経た後、陸上自衛隊で15年勤務。その後、鮭川村地域おこし協力隊に着任し、観光ワラビ園復活や食品加工所の再生支援、また若者による村内イベントの企画支援などを行いました。任期満了後、新庄市に移住して現在に至ります。

「地元には、若い人達が楽しめる場や機会が少ない」という声もあり、事務所ビルのフロア貸し切りイベント「Fiesta Festa」や北本町商店街歩行者天国でコスプレイベント「はろハロ」を行いました。このイベント「はろハロ」は、今年からの開催ですが、コスプレという「若い人たちの文化」としては県内1位の参加者数になり東北各県から若者が新庄に訪れる機会になりました。他にも中高生や若い人達が企画したさまざまなイベントの支援をしています。

また、令和8年度から休日の部活動の地域移行が完全実施されることから、教育の質や進学の地域格差が生まれる状況が予想される中、新庄市では文化系クラブの支援体制が弱いということで、文化系地域クラブ管理団体を試行的に立ち上げました。

プライベートでも地元劇団「東北幻野」に所属して舞台に出演したり、草刈りや造園業手伝いなど充実した時間を過ごしています。

今後も若い人達と関わり「毎年必ず訪れる街・新庄」、「毎年必ず訪れる地域・新庄最上」と思ってもらえるように取り組んでいきたいと考えています。

9月定例会の予定

8月28日(水) 請願締切

9月9日(月) 開 会

10日(火) 一般質問

11日(水) 一般質問

12日(木) 一般質問

13日(金) 常任委員会

17日(火) 常任委員会

18日(水) 決算特別委員会

19日(木) 決算特別委員会

25日(水) 最終日

中継あり

中継あり

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております。

議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコン
のほか

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



市議会
インターネット
中継



新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご利用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あとがき

議会報編集委員の紹介

委員長 山科 春美
副委員長 亀井 博人
委員 鈴木 啓太
委員 鈴木 法孝
委員 伊藤 健一

令和6年度がスタートし、2年目となる議会報編集委員会にて、6月定例会と議会報告会を主な記事とした165号を発行させて頂きました。この度の表紙は、隠明寺風景にスポットを当て、イベント風景を委員メンバーが撮影し選定した写真となっています。企画編集会議を重ねた結果、新庄市の文化財を毎号掲載する運びとなりました。本市には、国・県・市それぞれに登録された文化財が数多くあります。来年の新庄開府400年に向け、「地域の宝」である文化財の歴史・地域の歴史に改めて触れてみてはいかがでしょうか。

(記・鈴木法孝)